#### 提案品目自己チェック票

記入要領に従って、提案予定品目について(1)~(3)のチェックを実施して下さい。 以下のチェックの結果 B欄にすべて を記入できた場合は、様式2~5と、その記述の根拠となる資料等の作成を開始してください 提案資料作成後、提出の前に再度自己チェックを行い、C欄に を記入してください

	提案資料作	<b>■成前のチェック</b>		提案資料作成後のチェック	
チェック項目	A この項目に該当する(又は必要事項の記人、記述の根拠となる資料の添付ができない)	B この項目に該当せず、必要事項の記入、記述 の根拠となる資料の添付ができると思う	<u> </u>	て て	事務局記入欄
(1)国及び独立行政法人等の公共工事において調達しないもの、または、極めて少ないものに該当しませんか?					
2)環境負荷低減に関する特性について、提案内容を客観的に評価するための資 料がないものに該当しませんか?			B欄にすべて を記入できた場合は、様式2~5.記述の根拠となる資料等の作成を開始して (だ)		
(3)環境負荷低減以外の特性(品質確保(安全性、耐久性)の確実さやコストの適正 さ等)を判断するための資料がないものに該当しませんか?					
	$\Box$				
	A 欄にひとつでも 該当項目がある 場合は提案をご 遠慮下さい			C欄にすべて を記入できた場合は、 (4)を記入してください	
			(4)参考情報(ル・ずれかに ) 提案しようとする品目を、	$\Box$	
			1.昨年度自らが提案した 2.昨年度は提案していない		
			昨年度の提案品目名称 昨年度は提案者名		
				提案資料一式を提出してください	

### 環境省 総合環境政策局 環境経済課 宛

14年 月 日

## グリーン調達品目 提案書

提案団体名			ED
代表者名	役職:	氏名:	ЕП
団体所在地	₹		
四件//111276			
	部課名:		
	   役職名: 		
	氏名:		
担当者連絡先	電話番号:	内 線	
連絡先になります	FAX:		
	郵便物等の送付先∶〒		
	団体所在地と同じ 場合は記入不要です		

#### 提案品目の概要

提案品目名と概要、グリーン調達品目としての判断の基準(案)等を記入してください。

(具体的な商品名の提案はお避け下さい。)

グリーン購入法の趣旨に基づき、グリーン調達品目として、以下の品目を提案します。

(1)提案品目名						
行った品目の 再提案の場合は 下欄にも記入	品目名			提案者名		
(2)提案品目の概要						
(3)提案品目の 環境面のメリット						
(4)判断の基準(案)						
(5)比較対象品目名						
(6)比較対象品目の 選定理由						
(7)提案品目の用 途、						
使用する分野( 該当する分野に をつけて下さい (複数可)		建設機械	 河川		道 路	下水道
` (传数可) ク		公 園	港湾·空港		建築	環境マネジメント システム

#### 個票1:提案品目の環境負荷低減に関する特性

(1)地球温暖化やエネルギー消費量の増大に関する特性 ライフサイクルの段階ごとにすべて記入。特にない場合は、「特になし」と明記

フィフッイツルの#	段階ことにすべて記入。特にない	場合は、「特になり」と明記
	環境負荷低減の内容と程度 に関する自己評価	環境負荷増大が懸念される 内容と程度に関する自己評価
1.資材段階		
2.建設段階		
3 . 使用段階		
4.解体段階		
5.処理・処分段階		
環境負荷低減内容と程 ・現状の問題・問題点に ・機能のはたらきや仕組	と程度に関する自己評価の根拠 度について、具体的にご説明〈ださい 関する科学的な説明  みに関する科学的な理論 量的な測定・評価方法および結果	
記述の根拠となる資 <u>料の添付</u> 記述の根拠となる資 料の添付		資料名:
環境負荷増大が懸念さい現状の問題・問題点に ・機能のはたらきや仕組	念される内容と程度に関する自れる内容と程度について、具体的にこ 関する科学的な説明  みに関する科学的な理論 量的な測定・評価方法および結果	
記述の根拠となる資 料の添付 記述の根拠となる資 料の添付		資料名:

(2)廃棄物処分量に関する特性(リサイクル関係) ライフサイクルの段階ごとにすべて記入。特にない場合は、「特になし」と明記

環境負荷低減の内容と程度	フイノサイクルの段	階ごとにすべて記入。特にない場だ	合は、「特になし」と明記
2 . 建設段階  3 . 使用段階  4 . 解体段階  5 . 処理・処分段階  環境負荷低減内容と程度に関する自己評価の根拠環境負荷低減内容と程度について、具体的にご説明ください。 ・現状の問題・問題点に関する科学的な理論 ・性能・効果に関する定量的な測定・評価方法および結果  第 記述の根拠となる資料の流付 記述の根拠となる資料の流付 環境負荷増大が懸念される内容と程度に関する科学的な理像 ・機能のはたらきや仕組みに関する科学的な説明 ・現境負荷増大が懸念される内容と程度について、具体的にご説明ください。 ・現状の問題・問題点に関する科学的な説明 ・機能のはたらきや仕組みに関する科学的な理論 ・性能・効果に関する定量的な測定・評価方法および結果  第 記述の根拠となる資料の流付 ・ 関する定量的な測定・評価方法および結果  話述の根拠となる資料の流付  記述の根拠となる資料の流付 記述の根拠となる資料の流付  記述の根拠となる資料の流付  記述の根拠となる資料の流付  記述の根拠となる資料の流付  記述の根拠となる資料の流付  記述の根拠となる資料の流付			
3 . 使用段階  4 . 解体段階  5 . 処理・処分段階  環境負荷低減内容と程度に関する自己評価の根拠環境負荷低減内容と程度に関する科学的な説明・機能のはたらきや仕組みに関する科学的な理論・性能・効果に関する定量的な測定・評価方法および結果  第	1.資材段階		
4 ・解体段階  5 ・処理・処分段階  環境負荷低減内容と程度に関する自己評価の根拠環境負荷低減内容と程度について、具体的にご説明ください。・現状の問題・問題点に関する科学的な説明・機能のはたらきや仕組みに関する科学的な理論・性能・効果に関する定量的な測定・評価方法および結果  第  記述の根拠となる資料の添付  環境負荷増大が懸念される内容と程度に関する自己評価の根拠環境負荷増大が懸念される内容と程度について、具体的にご説明ください。・現状の問題・問題点に関する科学的な説明・機能のはたらきや仕組みに関する科学的な説明・機能のはたらきや仕組みに関する科学的な説明・機能のはたらきや仕組みに関する科学的な理論・性能・効果に関する定量的な測定・評価方法および結果  第  記述の根拠となる資料の添付  記述の根拠となる資料の添付  記述の根拠となる資料の添付  記述の根拠となる資	2.建設段階		
5.処理・処分段階  環境負荷低減内容と程度に関する自己評価の根拠環境負荷低減内容と程度について、具体的にご説明ください。 ・現状の問題・問題点に関する科学的な説明 ・機能のはたらきや仕組みに関する科学的な理論 ・性能・効果に関する定量的な測定・評価方法および結果  第  記述の根拠となる資料の添付 環境負荷増大が懸念される内容と程度に関する自己評価の根拠環境負荷増大が懸念される内容と程度にしいて、具体的にご説明ください。 ・現状の問題・問題点に関する科学的な説明 ・機能のはたらきや仕組みに関する科学的な説明 ・機能のはたらきや仕組みに関する科学的な理論 ・性能・効果に関する定量的な測定・評価方法および結果  第  記述の根拠となる資料の添付  記述の根拠となる資料の流根地となる資料の流根地となる資料の流根地となる資料の流根地となる資料の流根地となる資料の流根地となる資料の流根地となる資料の流根地となる資料の流根地となる資料の流根地となる資料の流根地となる資料の流根地となる資料の流根地となる資料の流根地となる資料の流程は、 第  「会社会社会社会社会社会社会社会社会社会社会社会社会社会社会社会社会社会社会	3 . 使用段階		
環境負荷低減内容と程度に関する自己評価の根拠環境負荷低減内容と程度に回りて、具体的にご説明ください。 ・現状の問題・問題点に関する科学的な理論 ・性能・効果に関する定量的な測定・評価方法および結果  第 記述の根拠となる資料の添付 環境負荷増大が懸念される内容と程度に関する自己評価の根拠環境負荷増大が懸念される内容と程度に可いて、具体的にご説明ください。 ・現状の問題・問題点に関する科学的な説明 ・機能のはたらきや仕組みに関する科学的な説明 ・機能のはたらきや仕組みに関する科学的な理論 ・性能・効果に関する定量的な測定・評価方法および結果  第 記述の根拠となる資料の添付 記述の根拠となる資料の添付 記述の根拠となる資	4.解体段階		
環境負荷低減内容と程度について、具体的にご説明〈ださい。 ・現状の問題・問題点に関する科学的な理論 ・性能・効果に関する定量的な測定・評価方法および結果	5.処理・処分段階		
料の添付 記述の根拠となる資料の添付 環境負荷増大が懸念される内容と程度に関する自己評価の根拠環境負荷増大が懸念される内容と程度について、具体的にご説明ください。 ・現状の問題・問題点に関する科学的な説明 ・機能のはたらきや仕組みに関する科学的な理論 ・性能・効果に関する定量的な測定・評価方法および結果 等	環境負荷低減内容と程施 ・現状の問題・問題点に ・機能のはたらきや仕組・性能・効果に関する定量	度について、具体的にご説明⟨ださい 関する科学的な説明 みに関する科学的な理論	•
料の添付 記述の根拠となる資料の添付 環境負荷増大が懸念される内容と程度に関する自己評価の根拠環境負荷増大が懸念される内容と程度について、具体的にご説明ください。 ・現状の問題・問題点に関する科学的な説明 ・機能のはたらきや仕組みに関する科学的な理論 ・性能・効果に関する定量的な測定・評価方法および結果 等			
料の添付 環境負荷増大が懸念される内容と程度に関する自己評価の根拠環境負荷増大が懸念される内容と程度について、具体的にご説明ください。 ・現状の問題・問題点に関する科学的な説明 ・機能のはたらきや仕組みに関する科学的な理論 ・性能・効果に関する定量的な測定・評価方法および結果 等	料の添付		資料名:
環境負荷増大が懸念される内容と程度について、具体的にご説明ください。 ・現状の問題・問題点に関する科学的な説明 ・機能のはたらきや仕組みに関する科学的な理論 ・性能・効果に関する定量的な測定・評価方法および結果 等 記述の根拠となる資料の添付 記述の根拠となる資			
<u>料の添付</u> 記述の根拠となる資	環境負荷増大が懸念され ・現状の問題・問題点に ・機能のはたらきや仕組	れる内容と程度について、具体的にこ 関する科学的な説明 みに関する科学的な理論	
<u>料の添付</u> 記述の根拠となる資			
料の法付	料の添付		資料名:

(3)生物多様性の保全に関する特性(生物の生息環境の悪化および生態系の破壊に関する特性等) ライフサイクルの段階ごとにすべて記入。特にない場合は、「特になし」と明記

	環境負荷低減の内容と程度 に関する自己評価	環境負荷増大が懸念される 内容と程度に関する自己評価
1.資材段階		
2.建設段階		
3.使用段階		
4.解体段階		
5 . 処理・処分段階		
環境負荷低減内容と程成 ・現状の問題・問題点に ・機能のはたらきや仕組	と程度に関する自己評価の根拠 度について、具体的にご説明〈ださい 関する科学的な説明 みに関する科学的な理論 量的な測定・評価方法および結果	
記述の根拠となる資 <u>料の添付</u> 記述の根拠となる資 料の添付		資料名:
環境負荷増大が懸念され ・現状の問題・問題点に ・機能のはたらきや仕組	念される内容と程度に関する自れる内容と程度について、具体的にる 関する科学的な説明  みに関する科学的な理論 量的な測定・評価方法および結果	
記述の根拠となる資 <u>料の添付</u> 記述の根拠となる資 料の添付		資料名:

(4)有害化学物質に関する特性(大気汚染・水質汚濁等) ライフサイクルの段階ごとにすべて記入。特にない場合は、「特になし」と明記

• \m     C	環境負荷低減の内容と程度 に関する自己評価	環境負荷増大が懸念される 内容と程度に関する自己評価
I . 資材段階		
2 . 建設段階		
3 . 使用段階		
. 解体段階		
5.処理・処分段階		
環境負荷低減内容と程だ 現状の問題・問題点に 機能のはたらきや仕組	と程度に関する自己評価の根拠 度について、具体的にご説明〈ださい。 関する科学的な説明 みに関する科学的な理論 量的な測定・評価方法および結果	
外の添付	-	資料名:
料 <u>の添付</u> 日述の根拠となる資料の添付 環境負荷増大が懸	念される内容と程度に関する自己	
料の添付 日述の根拠となる資料の添付 環境負荷増大が懸 環境負荷増大が懸念さま 現状の問題・問題点に 機能のはたらきや仕組	念される内容と程度に関する自己れる内容と程度について、具体的にご	
景境負荷増大が懸念さま現状の問題・問題点に 機能のはたらきや仕組	念される内容と程度に関する自己 れる内容と程度について、具体的にご 関する科学的な説明 みに関する科学的な理論	
料の添付 日述の根拠となる資料の添付 環境負荷増大が懸 環境負荷増大が懸念さま 現状の問題・問題点に 機能のはたらきや仕組	念される内容と程度に関する自己 れる内容と程度について、具体的にご 関する科学的な説明 みに関する科学的な理論	

(5) その他の環境負荷特性【記入: 】 ライフサイクルの段階ごとにすべて記入。特にない場合は、「特になし」と明記

	階ことにすべて記入。特にない場 	H107 1910 0.0 1 C.7110
	環境負荷低減の内容と程度 に関する自己評価	環境負荷増大が懸念される 内容と程度に関する自己評価
1.資材段階		
2.建設段階		
3.使用段階		
4.解体段階		
5.処理・処分段階		
環境負荷低減内容と程/ ・現状の問題・問題点に ・機能のはたらきや仕組	と程度に関する自己評価の根拠 度について、具体的にご説明〈ださい 関する科学的な説明  みに関する科学的な理論 量的な測定・評価方法および結果	
_ <del>- 弄</del>	_	
記述の根拠となる資		資料名:
<u>料の添付</u> 記述の根拠となる資 料の添付		
環境負荷増大が懸環境負荷増大が懸念さ、現状の問題・問題点に・機能のはたらきや仕組	念される内容と程度に関する自れる内容と程度について、具体的にで関する科学的な説明  みに関する科学的な説明  みに関する科学的な理論 量的な測定・評価方法および結果	
記述の根拠となる資 料の添付		資料名:
<u>料の添付</u> 記述の根拠となる資 料の添付		

#### 個票2:提案品目の環境負荷低減以外の特性

#### (1)品質基準

評価・証明の有無(該当するもの	に )
1.ある	
3.ない	
3 . 不明	

章 14.	する評	/冊. 註正	IHΛ.	川兴
=7/ —	9 5 = +	111111 • =15	DH(I)	111741

<u>吃口;</u>	االتاري	山 <u> </u>		
	]添付	叫・証明の列字 品質基準作成者	評価·証明番号	評価年月日
1				
2				
3				
4				
5				

(2)目的物の性能を確保する条件	‡(使用にあたっての制限条件等)
自己評価(該当するものに	

1.比較対象と同等	
2.比較対象と比べて制限が小さい	
3.比較対象と比べて制限が大きい	

自己評価の根拠となる具体的な使用条件	片、使用範囲、使用方法等
記述の根拠となる資料の添付 有り	資料名:
記述の根拠となる資料の添付 なし	

(3)コスト 自己評価(該当するものに )とその根拠、理由

	コストの自己評価 (該当するものに )	自己評価の根拠・理由(具体的に)
	1.比較対象と同等	
1.資材段階	2.比較対象と比べて安価	
	3.比較対象と比べて高価	
	1.比較対象と同等	
2 . 建設段階	2.比較対象と比べて安価	
	3.比較対象と比べて高価	
	1.比較対象と同等	
3 . 使用段階	2.比較対象と比べて安価	
	3.比較対象と比べて高価	
	1.比較対象と同等	
4.解体段階	2.比較対象と比べて安価	
	3.比較対象と比べて高価	
c 60.TE 60	1.比較対象と同等	
5.処理・処 分段階	2.比較対象と比べて安価	
)] PXPH	3.比較対象と比べて高価	
6 . ライフサ イクル全体	1.比較対象と同等	
	2.比較対象と比べて安価	
	3.比較対象と比べて高価	
記述の根拠とな	る資料の添付 有り	資料名:
記述の根拠とな	る資料の添付 なし	只作   口 ·

# (4)**入手可能性(地域、季節による入手の難易度等)** 自己評価(該当するものに<u>)</u>

1.比較対象と同等	
2. 比較対象と比べて容易	
3.比較対象と比べて困難	

ウコセチャロかしかっロよりかはロタル	/士 [[] 55 [[]	/ <del>+</del> m <del></del>
自己評価の根拠となる具体的な使用条件、	伊田制用	伊田万法夫
		$1\times11111111111111111111111111111111111$

記述の根拠となる資料の添付 有り	資料名:	
記述の根拠となる資料の添付 なし		

<b>5 )使用</b> <sup>胃発年</sup>	実績等				
			]		
1 年間	適用件数、普及率				
	提案品目の適用件数		用件数の割合)	<b>素品目の用途</b>	こに記載したものに対する適
41 184			名称		割合
件数					
記述の根	拠となる資料の添付 有り		資料名:		
記述の依	拠となる資料の添付 なし				
2	-1の表記が困難な場合、	比較対象	象と比べた普及状	況について	<b>ごのコメント。</b>
是案品目	の公共工事における使用	実績(国			Ź
粉具土土	平成11年度		平成12年	F度	平成13年度
数量また 金額等	_ Iq				
					•
	の主な使用例(国、地方				
1 7	度 発注者 / 施工場所	工事名	朴		備考(特徴等)
'					
2					
3					
4					
5					
記述の根	拠となる資料の添付 有り 拠となる資料の添付 なし		資料名:		
記述り他	対処とはの貝科のが刊 なし				
今後の普	及の見込み、価格低減の	見込み等	É		